



社会福祉  
法人

一人ひとりに愛と希望を

九十九里ホーム

第 10 号

平成16年3月25日発行

# ひとつぶの麦

社会福祉法人  
九十九里ホーム

〒289-2147  
千葉県八日市場市飯倉21  
TEL 0479-72-1131(代)



海とスイセン（聖マーガレットホーム 澤田明江さん）

**「あなたがたは世の光である。**

**…あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。」**

**—新約聖書・マタイによる福音書より—**

この絵は聖マーガレットホームの澤田明江さんがスティックを口にくわえてパソコンで描かれたものです。今回は、灯台が描かれています。以前、離島の灯台で光を放ちつづけるために大変な労力がはらわれていることを聞いたことがあります。イエス・キリストは弟子たちに「あなたがたは世の光である」と言われました。これは、すでに世の光となっていて、神様があなたがたを用いておられる、ということであり、さらに、その光を絶やさないために、神様がわたしたちに力を注ぎ込んでおられるということでもあります。

九十九里ホームは新たに山田特別養護老人ホームを開設されます。神様がともにおられて、新しい光が輝きつづけることをお祈りいたします。

日本聖公会八日市場聖三一教会牧師 竹内一也

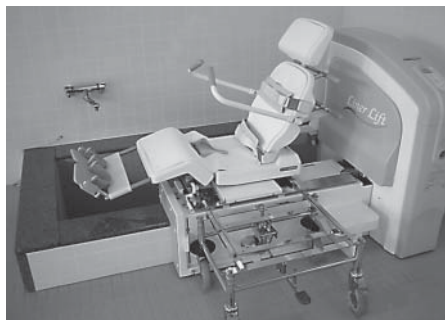
## 山田町に特養ホームオープン

平成16年4月1日、山田町大角に九十九里ホーム山田特別養護老人ホームが開設いたします(入居70床・ショートステイ10床)。

山田町高岡町長様をはじめ多くの関係者の方々のご尽力をいただき、山田町の助成のもと、町と九十九里ホームの協力事業として、平成14年10月より工事を行ってまいりました。その間、建設関係の皆様方には、暑さ寒さの厳しい中の作業に大変ご努力をいただき、事故もなく順調に工事も終了しました。



平成11年10月、山田町の委託事業として単独型のデイサービスセンターを開設。当初は、九十九里ホームの施設としては初めて海匝地区から離れ、香取郡の地でのオープンでしたので、果たしてご利用して頂けるのかと不安もありましたが、地域の皆様やご利用者の皆様にご理解を得て、徐々に選んで頂ける施設になってきました。そして平成12年4月には、介護保険制度の導入があり、利用者数も徐々に増加してきました。



この度、かねてより念願の特別養護老人ホームの開設となりましたことで、あらためて法人の特性を生かした総合的な援助ができるようにサービスの向上を図り、地域の皆様に貢献できるよう努力をしていきたいと考えております。

創立者、ミス・ヘンテ女史のまいたひとつぶの麦が、この山田町の地で大きく育つよう、スタッフ一同初心を忘れず、サービス向上に努めていきたいと思っております。

### 助成事業の報告

#### 送迎も笑顔と共に

～(財)日本船舶振興会(日本財団)より助成～

特別養護老人ホーム 第二松丘園

通所介護サービスや短期入所の送迎等には、送迎車は欠かせません。

現在も利用者の方の送迎で7台の車両が稼働していますが、車椅子ご利用の方も多く、車椅子のまま乗降できるリフト車は利用者の方の負担が軽減でき、走行中も周囲の景色を楽しんでいただけることでしょう。

車体には、大きなイラストが描かれており思わず笑顔がこぼれます。

“安全”“安心”を心がけて今日も利用者の方を目的の場所へお送り致します。



各施設から  
こんなニュースが  
届きました。

## 愛の詩をうたいたい

養護老人ホーム 瑞穂園

ロックバンドX JAPANのヴォーカルとしてご活躍をされたToshiさんのミニコンサートが開かれました。Toshiさんは、数年前より各地でコンサートの合間を縫って福祉施設を訪ね、ミニコンサートのボランティア活動をされているとのことでした。

コンサートは約30分、Toshiさんがアコースティックギターで弾き語り「愛の詩をうたいたい」「君はいないか」等、優しく心に響く歌声を披露して頂き、又、歌手活動を行って来て、つらい経験をした事、たくさんの人との出会い等のお話しながら、普段テレビやラジオ等で拝見できないToshiさんの一面も見せて頂いた様な気がしました。

Toshiさんは気さくな方で、記念写真の撮影でも入所者の肩に手をかけながら優しく声をかけて下さいました。

入所者、職員ともに癒しのひとときを過ごす事ができたように思いました。



## 共同作品 “ふれあいギャラリー”に出展

身体障害者療護施設 聖マーガレットホーム



毎年1～3月、八日市場公民館や法人内各施設で開催している「九十九里ホーム作品展」も今年で12回目となりました。今回は聖マーガレットホームの力作について紹介をします。

聖マーガレットホームでは毎年利用者による共同作品を出展しています。施設では月2回ボランティアの講師をお願いして手工芸クラブを行っています。そこでは、空き箱や半端な糸や布、包装紙や廃材など普段では捨ててしまうであろう物を有効活用します。ボランティアと利用者が話し合い、「みんなですばらしい作品を作ってみよう。」という意見が出ました。

作品は約1年かけて仕上げます。まず何を作るかを話し合います。次に役割分担をし、手が不自由な方は口を使ったり、器用にはさみを使う方もいます。障害の程度に合わせてみんなで分担し、今年は5作目の「さるかに合戦」を、パネルから飛び出るほどの迫力ある作品に仕上げました。時間をかけてみんなで作っただけに、完成した時の喜びは格別なものです。

## 老人保健施設 ミス・ヘンテ記念ケアセンター

### 「楽しく」「笑顔があふれ」 「一人ひとりを大切にする」ケアセンターをめざして

ケアセンターでは、平成15年度職員の意欲向上と意識改革を目標に、全国大会・法人内研究発表会・千葉県研究事例発表会の発表に取り組みました。

全国大会は、10月16・17日に北海道で開催され、「楽しい仕事」への第1歩～“やりがいのある仕事”というけれど～というテーマで、



副主任介護職員の竹内輝子が発表しました。内容は、誰もがやりがいのある仕事と思っても、限られた職員数で質の高いケアを提供するためには職員の負担が大きくなるが、人の命にかかわる仕事に就いたからには、大変なのは当たり前と考え、「楽な仕事」ではないが、「楽しい仕事」に変えていけるように、また、「人を幸せにできる仕事」「自分が幸せを感じられる仕事」と思うことが、「楽しい仕事」への第一歩と考えられるのではないかと…。

法人内研究発表会は11月7日に、「スマイル」～笑顔で向かい合うために～というテーマで、介護職員の菅野正子が発表しました。内容は、利用者の方へのアンケートを行い、ケアセンターで楽しく過ごすためにはどうしたらいいか、利用者と職員が共に楽しく笑い声があふれる施設になるためにはどうしたらいいか、を検討したことについてまとめました。「笑顔のあふれる施設」をめざして、いつでもどこでもいつまでも「スマイル」を忘れないように…。



千葉県研究事例発表会は11月19日に、“響き渡る夜の奇声”～「足浴・アロマ・運動」を試みて～というテーマで、介護職員の篠塚美和が発表しました。内容は、痴呆症状のある方が夜間大きな声で騒いでしまうことについての対応策として行った試みについて、まとめたものです。

今後も、ケアセンターでは、このように努力を積み重ねて「一人ひとりを大切にしたケア」を行っていきたいと思います。

## 利用者の意見を真剣に聴く

### ～入所者懇談会開催～

#### 聖マーガレットホーム

施設では利用者が快適に生活をしていただくためにさまざまな取り組みをしています。利用者と職員とが良好な関係を保ち、常に利用者の意見に耳を傾けることが必要です。

聖マーガレットホームでも苦情解決担当者と責任者を設置し、窓口としていますが、開設当時から入所者懇談会を年4回開催してきました。毎回50名以上の方に集まっていたり、いろいろな意見や要望をお聴きする機会と位置づけています。

今までの主なものでは、「居室に備え付けてあるタンスのひきだしの取っ手が2つしかなく、片手では扱いづらい。」との意見があり、希望者や操作可能な方については真ん中に取っ手をつけて、片手でも操作しやすいようにしました。また、「自分で洗濯をするコーナーはあるが、干すことが苦手なため洗濯乾燥機がほしい。」という意見があり、さっそくドラム式の洗濯乾燥機を設置し、利用していただきました。

このような意見に耳を傾けることは利用者の生活を便利にするだけでなく、職員の対応やサービスの質を向上させることと捉えることができます。これからも一つひとつの意見を大切に、皆様に喜ばれるような施設に一歩でも近づけるよう頑張ります。



## デイサービスセンターでアンケート実施

法人内通所介護事業所である九十九里ホームデイサービスセンター・第二松丘園デイサービスセンター・九十九里ホーム山田デイサービスセンターでは、ご利用者・ご家族の要望や、意見をキャッチする手段の一つとしてアンケート調査を実施しています。朝夕の送迎の折にも直接ご家族と触れ合う機会はありませんが、とても短い時間であり、ご利用者の健康状態の話題で精一杯です。そこで、アンケートにご協力いただき、少しでも本音の要望、意見をいただければと考えました。1月に実施したアンケート調査の内容は以下のとおりでした。

- 1 現在の利用日の他に要望する日はありますか
- 2 日曜日、年始の利用希望はありますか
- 3 デイサービスでの楽しみは何ですか
- 4 不満は何ですか
- 5 その他の意見・希望はありますか

集計結果で特筆すべきは、デイサービスでの楽しみは入浴・食事・レクリエーション・他の利用者や職員との交流でした。デイサービス事業の目的でもある閉じこもりを防ぐことを充分ご利用者も、ご家族も楽しみながら実現していることを実感できた結果でした。今後もアンケート調査だけに留まらず、ご利用者、ご家族と信頼の中で本音で向き合えるようになりたいと考えております。

# そよ風のページ

九十九里ホームの各施設では、子どもたちのボランティア体験などの受け入れを積極的に行っています。施設が介護の場だけでなく、地域福祉教育も役割りの一つであると考えています。ここで芽生えた「福祉の芽」が、将来大きく育つことを願い、その一部を紹介します。

## 吉田小学校からの贈り物

聖マーガレットホーム

昨年10月、八日市場市の吉田小学校から美味しい新米の贈り物をいただきました。

5年生全員の15名の児童の皆さんと先生方、保護者の皆様方が春の田植えから秋の収穫まで長期間力を合わせて大切に育てたお米です。「僕たちが作った無農薬で安心・安全なお米です。マーガレットホームの皆さんに食べていただけると嬉しいです。」と優しく心のこもった手紙も贈られました。

数日後の昼食にごちそうになった新米は丹誠込めて作ったものだけあってふっくらしていてほんのり甘く、とても美味しかったです。

新米と一緒に子供たちの温かい気持ちも利用者に届き、皆さん大変喜んでいました。

この2月には5年生全員がマーガレットホームに来園し、見学や利用者と一緒にゲームなどの交流活動をしました。お米を通しての絆は大切な財産となりました。ありがとうございました。



## = 須賀小学校5年生との交流 =

特別養護老人ホーム 松丘園

3月1日、八日市場市立須賀小学校より、23名が来訪し松丘園のお年寄りと共に楽しいひとときを過ごしてくれました。この日はクラスのみinnで計画した心のこもったプログラムを実施。5班に分かれて車椅子清掃、ベットメイキング、風船バレー、手作りの輪投げゲーム、車椅子のお年寄り散歩、紙芝居など熱心に活動している表情に真剣さが感じられました。また、車椅子をピカピカに磨いてくれた後、風船バレーをお年寄りと一緒にたのしみ、大声で夢中になっていました。そばを通りかかるお年寄りや面会者などにも元気良く挨拶をしている姿勢にはとても感動しました。11歳の23名の子供たちからお年寄りはエネルギーをいただいた1日でした。



## 第二松丘園 職場体験の感想

～職場体験をした5名の中学生から  
うれしい手紙が届きました。～

加瀬 美幸

お茶入れをしたり、お話しをしたり、掃除をしたり、ヒゲをそったり、食事をくばったりしてすごく勉強になりました。それに最後に「またおいで待ってるからね忘れないで!!」といってもらってとてもうれしかったです。

坂本 愛美

老人と接するのは、あまり無い事で1日目は緊張して、お役に立てませんでした。2日目は皆さんにも慣れてきて、気軽に話したり、いろいろと教えてもらいました。

高木 美歩

大変な仕事だと思っていましたが、思っているよりもっと大変だということがわかりました。将来自分も親を面倒見てあげないといけないので、ほんとに勉強になりました。2日間いろいろな人と話しをしたりできて、楽しかったです。

<横芝中学校2年>



萩本 翔平

入居者の方は明るい方ばかりで何名かにはお話をさせていただきました。

働いているスタッフのみなさんも心やさしく親切に接してもらい手順もわかりやすく教えていただき、ためになりました。

村上 徳代

普段、家では、洗たくどころか食事の配膳すらろくにしていない状態でしたので、実のところ少しとまどってしまう所も多々ありましたが、そんな時に、優しく丁寧に教えてくださった皆様の言葉は、私にとってとても大きな励みになりました。

## 福祉体験ボランティア

横芝敬愛高校



「体験学習を通し、豊かな心と将来への生きる力を養うと共に、自己を見つめ、高校生活の充実を図る」ことを目的として2月17日から19日の3日間にわたり法人内各施設で58名の高校1年生が体験学習を行いました。お年寄りと接することに慣れないせいか初めは緊張していた様子で「大変だなあ」「疲れるなあ」などと言っていたのですが、すぐに慣れて「お年寄りとお話するのがとても楽しい。」と馴染んでいきました。

社会の一員としての自覚が芽生える高校生への福祉教育は、一方的な押し付けにならないように留意し、人間としての生き方を自ら考えていけるよう工夫しなければなりません。このボランティア体験を通じ、次の時代を担う若い世代の人たちに、人を大切にする思いやりの心と併せて、福祉現場の厳しさをも伝えていくことが地域福祉教育であると感じています。

# ふれあいシニア講座

## ～あなたの脳は眠っていませんか？～

九十九里ホームでは、地域の皆様に、活動性のある豊な暮らしをしていただきたいと願い、『介護がいらぬ健康な身体づくり』を大きなテーマに、ふれあいシニア講座という名称で介護予防教室を開催しています。平成13年度から年に4～5回開催していますが、その内容は、転倒予防・痴呆予防・夏バテ予防・長寿の秘訣など、座って話を聞くプログラムと、ウォーキング・体操・体力テスト・コーラスなど、実際に体験していただくプログラムの両方を組み合わせています。これまでに、「ボケないための裏技」「住まいの工夫で転倒予防」「夏を元気に乗り切ろう」「あなたの筋肉年齢は？」「目指せ健康長寿！歩くことから始めよう」といったテーマで開催し、毎回30名前後、多い時には50名位の方が参加されています。

最近では、平成16年2月28日に、光町町民会館で「痴呆を防ごう！あなたの脳は眠っていませんか？」というテーマで、記憶テストや、小説を声に出して読むなどの痴呆予防法や、頭と身体をリフレッシュするための体操といった内容を行ないました。

毎回欠かさず参加されている方も多く、できるだけ変化に富んだ内容で行なうように心がけています。

次の開催日程は、決まり次第法人内の各施設にポスターを掲示したり、案内のパンフレットを近隣各施設に置くなどしてお知らせいたします。

今後も、楽しくて役に立つ情報を提供できるよう、工夫を重ねていきたいと思っておりますので、是非一度参加してみてください。

### 【お問い合わせ先】

九十九里ホーム在宅介護支援センター

電話0479-73-2115

第二松丘園在宅介護支援センター

電話0479-84-3969



## ふれあいシニア講座に参加して

横芝町 斉藤 安子様

私は、63歳になる農家の主婦です。

95歳の義母が約20年前に軽い脳梗塞で倒れてから老人介護のことに興味を持っていました。自宅で面倒を見るには素人の私には、わからないことばかりです。希望する特養施設は簡単には入所が困難です。

そんな折、『ふれあいシニア講座』へ参加させていただき、お話を聞くことで私なりに少しは成長したと思います。

シニア講座と言いますと、「何か難しいことをやるのかな」と緊張して出かけますが、難しいお話あり、ユーモアのあるお話あり、無理のない運動などであっという間の2時間です。

2月28日のボケ予防の記憶テストはなかなか難しく「私もボケが進んでいるかな」と心配し、周囲の事に細かい注意力が大切だなとしみじみ感じました。

私の希望する点がひとつあります。

それは、素人でも病気に早く気がつくことができるようなポイントを教えていただきたいと思います。

これからも、機会がありましたらぜひ出席したいと考えております。



# 地球にやさしい施設を目指して

九十九里ホーム病院 主任施設管理係 五木田俊次

この度、関東地区電気使用合理化委員会から施設を代表し、功績者として委員長表彰を受賞することができました。

この電気使用合理化委員会は、政府と共同で電気の省エネや合理的利用方法を全国的に広めている団体で、毎年、顕著な功績があった施設や個人に対しての表彰や事例の紹介を行っております。

今回の受賞理由は、法人内各施設において省エネを推進した結果、大幅なコストダウンが図



れたことです。なお、その手法は各施設の空調設備（蓄熱式空調）を中心に夜間電力の有効利用を追求し、空調の運転方法を見直したことです。合わせて東京電力の協力で、計測しながら改善することができ、大きなトラブルもなく最適な電力契約種別に見直すことができました。

省エネは一人では出来ません。職員・入所者の方々の理解があってこそ継続できるものです。今後も、各施設の省エネに目を向けて一層の努力をしていきますので、是非ご協力をお願いします。ありがとうございました。

## セーフティードライバーズちば

九十九里ホームでは日頃から交通安全運動に積極的に取り組んでいますが、今回はその一つとして、「セーフティードライバーズちば」の取り組みについて紹介します。

この取り組みは千葉県安全運転管理者協議会が主催の活動です。施設で職員10名を選出して1つのチームを作り、昨年7月から10月までの4ヶ月間、無事故無違反運動に取り組みました。利用者様の送迎や受診に限らず、通勤時や休みの時私用で車を運転する時も該当します。

10名の中で1名でも違反をすると目標に達成することができないため、期間中は特に安全運転に心がけました。スピードを控え目にし、交差点での左右の確認や適切な車間距離での走行など、普段目標としていることを中心に頑張りました。もちろん脇見運転や走行中の携帯電話の使用は厳禁です。その甲斐あっ

て、今回は6チームが見事達成することができ、2月には代表者が表彰式に参加しました。これからも安全運転の向上に努めていきます。

### セーフティードライバーズ6チーム達成

- ・九十九里ホーム病院  
健康第一チーム
- ・松丘園  
まつぼっくりチーム
- ・ミス・ヘンテ記念ケアセンター  
ゴールドドライバーズチーム
- ・瑞穂園  
瑞穂の国チーム
- ・第二松丘園  
ベイシックドライバーズチーム
- ・山田デイサービスセンター  
セイフティテンチーム

# ホームページをご覧ください!



## 総合的福祉施設の中核 九十九里ホーム病院



九十九里ホームから世界へ情報発信！なんて言う  
と大げさですが、九十九里ホームでは、昨年11月か  
らホームページを公開しています。親切で操作しや  
すい、見た方に暖かい気持ちが伝わるようなホーム  
ページを作ろう！と各施設職員が知恵を絞りあい、  
長時間の激論を経て完成しました。特に工夫したと  
ころは、よりリアルに九十九里ホームの活動を伝え  
られるように写真を多く取り入れた点です。また、  
フレッシュな情報を提供できるように、随時内容を  
更新しています。

心をこめて作ったホームページです。一人でも多  
くの方に御覧いただければ幸いです。

### 九十九里ホームネットワーク

#### 九十九里ホーム病院

#### 九十九里ホーム訪問看護ステーション

#### 介護老人保健施設

#### ミス・ヘンテ記念ケアセンター

#### 介護老人福祉施設

#### 松丘園

- ショートステイ
- デイサービスセンター
- 在宅介護支援センター
- ヘルパーステーション

#### 介護老人福祉施設

#### 第二松丘園

- ショートステイ
- デイサービスセンター
- 在宅介護支援センター
- ヘルパーステーション

#### 介護老人福祉施設

#### 山田特別養護老人ホーム

- ショートステイ
- デイサービス
- 在宅介護支援センター
- ヘルパーステーション

#### 養護老人ホーム

#### 瑞徳園

- ショートステイ

#### 身体障害者療護施設

#### 聖マーガレットホーム

- ショートステイ
- デイサービス

ホームページアドレス <http://www.99-home.com>



「ひとつぶの麦」もご覧になれます。